

12月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和7年12月2日(火)

午前9時30分～

地域交流センター第3・4研修室

出席委員 職務代理 小山正文 委員 高野羊子
委員 坂口曜子 委員 小松小百合
出席職員 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 尾台弘枝
筑北中学校長 大鷹宏彰 教育長 加瀬浩明
次長 宮下信俊 係長 森山正一 主任 高野智弘

一 開会(宮下教育次長)

令和7年12月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願いいたします。

二 教育長挨拶(加瀬教育長)

教 育 長: インフルエンザが例年より一カ月ほど早く流行期に入っているようです。お気を付けください。

それでは12月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

三 報告

1) 教育長報告

宮下次長: 報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

教 育 長: 11月20日、21日に東筑摩郡町村教委代議員会視察研修会がありました。私と職務代理とで参加しました。

一日目の研修場所は、名古屋市のトヨタ産業技術記念館と名古屋城でした。トヨタグループの今までの歴史展示と自動車の展示でした。一時間半程度の見学でしたが見どころがたくさんあり感心しました。子どもたちにも見学させてあげたい場所だと思いました。名古屋城は改修が行われていて、天守閣に入ることができませんでした。本丸御殿を見学しました。今回の視察研修のメインが二日目の愛知県東浦町立緒川小学校であります。全国から視察が沢山来ています。自由進度学習に取り組ん

でいます。長野県教育委員会からも一人先生が派遣されています。

校長先生から挨拶をいただいた後、教務主任の先生から学校の概要をいろいろ説明していただきました。学校のつくりが筑北中学校とよく似ていました。図書が置いてあるオープンスペースから両階段で二階に上がります。筑北中学校と同じ時期に造られたようです。オープンスクールとしての学びが今日まで続いていました。廊下側の壁がないので広々とした空間で学習していました。

全体のカリキュラムのうち 8 割が通常で、自由進度学習は残りの 2 割です。自分で計画を立てて学習を進めるということでした。4 年生以上が対象となります。自由進度学習は年間で 25 時間ほど設定されています。その中で自分たちのやりたいことに取り組んでいます。ガイダンスやその前段階の準備を丁寧にやっていることで成り立っていることが分かりました。子どもたちは、自分でプログラムを考えて学んでいました。まとめや振り返りなどもしっかりできていました。

50 年の歴史の中で、積み上げられてきたことを感じる事ができました。緒川小学校だけが特別な人事をされているわけではありません。通常の人事異動の中で先生方も動いているので、緒川小に行ってはじめてこのような取り組みが分かるという状況でもあるようです。

我々の所でも生かせるものがあればと思います。資料をもってきていますので見ていただきたいと思います。

今回は、朝日村が事務局となっていました。来年は麻績村が事務局となります。一年かけてどのような研修にしたらよいか考えていきたいと思います。皆さんから情報等あれば教えていただきたいと思います。

3 日から議会が始まります。今回新しい議員さんとなって様々な質問が出ています。後ほど次長から説明があります。

保小中それぞれの所で学期のまとめをよろしくお願いします。インフルエンザ等心配な部分がありますので、注意しながら進めていただきたいと思います。以上です。

2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

高野 CO: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて保育園長報告に移ります。

塚原園長: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて小学校長報告に移ります。

尾台校長：（以下、資料に沿って説明）。

宮下次長： それでは続いて中学校長報告に移ります。

大鷹校長：（以下、資料に沿って説明）。

宮下次長： それぞれからご報告いただきましたが、委員の皆様からご質問等ありますか。

小松委員： ひだまり広場の避難訓練についてお願いします。避難場所は何処になりますか。

高野CO： 役場前の駐車場になります。危険がなく近い所を考えています。お子さんが二人いたりすると、一人を抱えてもう一人の手を引いて避難することはとても大変です。

小松委員： そのような場合の応援体制はどうなっていますか。

高野CO： 教育委員会に声をかけるようになっています。すぐに駆け付ける体制を整えています。

宮下次長： 児童クラブは、小学校の校庭を避難場所としています。ひだまり広場も役場との合同訓練の時は、小学校の校庭へ避難するようになっていますが、現実的には先ほどコーディネーターが説明した状況になります。

四 報告・協議事項

（１） 12月定例議会：一般質問事項について

教 育 長： 12月定例議会に出されている一般質問事項についてお願いします。

宮下次長： 教育委員会に関連する質問ですが、山口議員から放課後児童クラブ利用料の無償化についての質問をいただいております。

村と相談をしたところ、現状では無償化について考えていないということで回答する方向ですが、この場でも皆さんからご意見を頂戴できればと考えています。

次に、通学路の危険箇所になります。駅前通りの横断歩道における安

全対策について質問をいただきました。前回の定例会で皆さんに見ていただいた所になります。カーブミラーの設置についてはスペース的に難しいという答弁になるかと思います。教育委員会でも協議してソフト面での対応を現状考えていると答弁させていただく予定としております。

「今後どのように点検改善を進めていくか」というところについては、以前は PTA からの要望ということで提案されていたので、復帰に向けて動いていけないかと相談させていただきます。

刈間議員から、これからの学校の在り方について質問をいただいております。まず、質問要旨の 1 番 ICT 教育については、現状を話しするのと、先ほど中学校校長先生からあった生徒会の電子投票初導入も話しができるかなと考えています。

「中学を筑北村と協同で授業（部活動を含む）との声があるが、協同の考えはあるか」については、社会科はオンラインで聖南中と実施していることなど現状を話したいと思います。また吹奏楽部は合同でやっていますのでその説明をしたいと思います。学校統合の話ではないということです。小中学校の授業づくり研究会の中での自由進度学習についても新しい取り組みの一つとして報告したいと思います。以上です。

教 育 長： 只今説明がありましたが、委員の皆様から何かございましたら願います。

小松委員： 山口議員の放課後児童クラブ利用料の無償化についてお願いします。教育委員会ではどのように話し合われていますか。

宮下次長： 現状の利用状況ですが、小学校全校生徒が 87 名に対して児童クラブの登録者が 40 名程度になっています。常時利用されている方は 20 名程度になります。一時利用で長期休みに利用したいというときに少し増えます。半数に満たない状況です。無償化にした場合、行政サービスの提供と考えたときに、公平性が少し足りないかと思います。行政サービスの提供については、平等ということは大事にしたい観点です。

小山職務代理： 利用料はいくらになりますか。

宮下次長： 一時利用の場合 1 回 300 円になります。年間利用の場合は月 2,000 円になります。

小松委員： 近隣の市町村の無償化の状況はいかがですか。

宮下次長： 実施しているところの認識はありません。

小松委員： 財源確保、職員確保、公平性などを考えるとハードルが高いのかなと感じます。

坂口委員： バス通学の子どもたちは、お金を出さないで学校に居られるということで、不公平感があります。

バス下校の子どもは4時半まで帰ってこれないので、お金をかけずに4時過ぎまで長くいられます。徒歩下校の子どもたちは、1時間から1時間半程度お金を払って見てもらっています。下校になったらバスの子はバスで帰るようにし、帰っても親がいないのであれば、お金を出して児童クラブに出るというのが不公平をなくす方法だと思います。しっかり考えなければならないかと思います。

宮下次長： バス待ちの間の利用ということですか。

坂口委員： 低学年はバス待ちをしています。高学年はバス待ちの時間はありません。低学年は6時間授業がなければ、4時近くまで学校に残っています。下校が3時だとしても、バスの時間まで学校に残っていなければなりません。でも徒歩の子は、家に親がいなければ児童クラブに行くのでお金を払っています。学校で待っている子は、教室で待っているので静かにしていなければいけません。児童クラブの子たちは遊べていいなと言っています。

宮下次長： バス待ちの子は何处で待っていますか。

尾台校長： 今はパソコン室で職員が必ず一人ついています。宿題をやったりしています。

教 育 長： バスの件は改めて整理しましょう。

高野委員： 調べたところ中野市が公費負担のようです。大きな市と村とでは違いがあると思います。施設の充実度にも違いがあると思います。バスの時間までは無償で預かって、以降は有償にするとか考えられるかと思います。そのためには、支援員の確保があれば可能性があると思います。やりたくても人材が不足していることの課題が大きいかもしれません。

全国的には公費負担の流れになってきているのかと思います。例えば保育園無償化もそうですが、時期が来たらお金もおりてくる可能性もあ

ります。なので先駆けて検討するか、時期まで待つかだと思います。

宮下次長： バス待ちの件については、昨年度伊藤校長先生とも話をされていて、スクールパートナーでどなたかいるといいなということが話題になったことがありました。我々としても、先生方の働き方改革の観点から何らかの対策を考えていかなければならないと思いました。

教 育 長： その他いかがでしょうか。ありがとうございました。

(2) 部活動の地域展開の状況報告について

宮下次長： 検討委員会の初会合を11月26日に実施いたしました。委員長に中学校の大鷹校長先生と副委員長に小学校の尾台校長先生が選出されております。構成メンバーは小中学校ほか中信教育事務所の担当の先生、中学校のPTA会長、女子バレーと剣道の地域指導者、中学校部活動顧問の先生に入っていました。計10名の組織となっております。

協議に入る前に、中信教育事務所の指導主事の先生から全国的に行われている部活動の地域展開とはどういうことなのかお話しいただきました。国や県、近隣の取組状況についてもお話をいただきました。知識をそろえるところから始めました。実際の協議では、こちらで考えているアンケートのたたき台を提示しました。内容や回答対象者をどこまで広げるかご意見を伺いました。

今回は1月に会議を予定しています。アンケートを完成させて保護者や児童生徒に配布をしたいと考えております。アンケートはインターネットで回答できる仕組みを考えております。状況報告は以上です。

教 育 長： 委員の皆様から何かございましたら願います。よろしいでしょうか。次に、全国学力・学習状況調査の結果公表について願います。

宮下次長： 毎年1月に村の広報で各学校の結果を公表しております。各学校から提出いただいた資料を基に原稿を作成して、村民の方々に公表したいと思います。

教 育 長： 委員の皆様から何かございましたら願います。よろしいでしょうか。

五 その他

1) 各委員から

教 育 長: 委員の皆様から何かございましたらお願いします。

小松委員: 毎回定例会に参加させていただいて報告を聞きますと、それぞれ工夫がされていて麻績の子どもたちのために環境が整ってきているなと感じます。

保育園の延長保育にお邪魔しています。感想として、子どもたちが、それぞれやりたいことをとてははっきりと主張できています。自分のやりたいこと、言いたいことを言います。なので、喧嘩になったりもします。しかし、ほかの子が「そんなことされたら悲しいよ」と言って、子どもの中で解決している姿を見ます。つい大人が介入したい場面でも黙って見守っていると、自己解決しているのですごいなと思いました。

自分たちでやりたいことを選び取って計画するという保育の在り方が、子どもたちの姿から見ることができました。と同時に、まとめ上げるのが大変だなとも感じました。

私が延長保育を終えて帰るときには、外は真っ暗になっています。先生たちはまだ職員室で遅くまでお仕事をされています。長野県は時間外勤務が全国的にもまだまだ多い状況です。先生方の負担を働き方改革で考えていかなければならないと思っています。声をあげていきたいです。いずれにしても先生方の頑張りによって子どもたちの環境が整えられていることに感謝いたします。

坂口委員 私の子どもたちの様子の話になりますが、保育園で何かあると楽しそうに話します。八百屋さんごっこの話もしました。自分たちで育てた野菜を収穫して来て販売までしたことは、子どもたちにとって貴重な体験をしたんだと感じました。

野菜を育てたり、小学校では車椅子体験をしたり普段からできないことを経験できて有難いと思います。小学校では 12 日に自由参観があるので楽しみにしています。

高野委員: 毎日熊の話題がひっきりなしです。5 時くらいになるととても暗くなります。熊ばかりではなく鹿も気になっています。子どもたちに不意に出てきて、ぶつかったりしなければいいなと思っています。事故にならなければいいなと思っています。

小山職務代理: 先日緒川小へ視察に行ってきましたが、子どもたちが非常にのびのびしているように見えました。他の学校から比べても、子どもたちがのびのびとしていると先生が答えていました。

東浦町は結構大きな町で、小学校が7校あります。全部が全部緒川小学校のような取り組みをしているわけではないようです。緒川小の規模は1～5年生までが3クラスあります。6年生が2クラスと、特別支援学級が3クラスあります。非常に広い校舎でした。

学力テストはどうですかと質問したところ、テストの成績自体は並とのことでした。自己肯定感などについては前向きな答えが返ってきました。自由進度学習の成果が出ているのだなと感じました。不登校については長期の不登校はないとのことでした。この学校にはチャイムがありませんでした。休み時間が終わるときには上級生が下級生を促しながら教室に戻る姿が見られました。

教 育 長: 職務代理から話がありましたけれども、不登校の子はいるんですが、そのうち何人かはオープнтаイムの時は登校してくるそうです。

中学校では、教科担任制となるので全く同じにはできませんが、似たようなシステムをつくろうとして取り組んでいるそうです。昔からある取り組みですが、なかなか定着しなかった教育方法だったかなと思います。我々の村でも取り入れられることがあるのではないかと思います。校長先生方には資料をお渡しするので見て参考にいただければと思います。

2) 事務局から

教 育 長: 事務局より連絡事項お願いします。

宮下次長: ありません。

3) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程 1月7日（水） 午前9：30～

六 閉会

教 育 長: 以上をもちまして12月の定例教育委員会を閉じます。

（終）